



◀いつまでも元気で長生きしてね

長寿のお祝いと日頃の感謝を込めて市内各地区で敬老会が開催されました。

横島地区では、建て替えに伴い現在の公民館での最後の敬老会となりました。式典の部では、市長が99歳と88歳の人にお祝いの記念品を手渡し、長寿を祝福しました。

また、催し物の部では、子どもたちが「大きな株」の劇を、応神太鼓「童」が和太鼓の演奏を行い、出席した高齢者の人たちは熱心に見入っていました。

また、中央公民館では笠岡地区の敬老会が催され、保育園児のかわいい鼓笛隊の演奏には会場の全員が笑顔で大きな拍手を送っていました。



かさおか ウオッチング

photo



▶大正琴の音色に 大きな拍手



9月5日、井笠地方を中心に活動している大正琴の愛好家グループ「琴瑛会」が、市民会館で発足20周年記念演奏会を開催しました。

琴の演奏とともに歌が歌われたり、吉田小学校児童が演奏したりするなど、大正琴の魅力が十分味わえる曲目が披露されました。会場を埋めつくした約900人の観客からは、一曲終わるたびに、割れんばかりの拍手が巻き起こっていました。

◀夢のまちってどんなまち？

9月5日、笠岡青年会議所の主催により、保健センターギャラクシーホールをメイン会場に「夢のまちづくり講演会」が開催されました。

この日は、早朝から「ひろっていいとも2004」と銘打って、番町地区住民とともに約80人が参加して地区周辺の清掃活動を行いました。10時からは「地域を活性化する夢のまちづくり」と題し、日本政策投資銀行の藻谷浩介氏による講演が行われ、全国各地の事例紹介と今後のまちづくりはどうすべきかをお話しくいただきました。

午後からは、「少子高齢化社会において、どんなまちになれば良いか」をテーマとしてワークショップを開催し、笠岡を中心に井笠地域の活性化を考えました。



▶公共施設の 救命医療体制の充実を

このたび、笠岡第一病院より、心臓停止した人に電気ショックをかけ蘇生を図る「自動体外式除細動器(AED)」2台を寄贈していただき、9月9日に、市長室で受納式を行いました。

このAEDは、音声ガイドに従いながら医療従事者以外でも確実に電気ショックを流せるもので、今後、笠岡総合体育館と市民体育センターに配備する予定となっています。

このAEDは、音声ガイドに従いながら医療従事者以外でも確実に電気ショックを流せるもので、今後、笠岡総合体育館と市民体育センターに配備する予定となっています。

